

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	福祉部障害福祉課		
施設名称	26 東京都台東区身体障害者生活ホームフロム千束	指定管理者	社会福祉法人台東つばさ福祉会		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27.4.1	～	H32.3.31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 身体障害者の福祉の増進を図り、地域社会での自立生活を促進する。
(2)	[所在地] 台東区千束3-28-13 千束保健福祉センター2階 [規模] 千束保健福祉センター内 RC造 地上7階地下2階のうち2階 延6,733.87㎡のうち2階765.53㎡ 居室11、介護人室2、食堂、浴室、洗濯室、トイレ
(3)	[委託事業] ・入居事業 ・自立生活体験事業 一定期間（1か月単位）の入居生活を体験する事業 [自主事業] ・近隣に居住する一人暮らしの在宅障害者に浴室提供を行う
(4)	[利用者] 台東区内に住所を有する身体障害者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 9名 (内 訳) 施設長1、生活支援員：常勤6、非常勤2 (前年増減) 非常勤1減

2. 予算決算

		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料（指定管理料）	66,617,000	63,687,660	65,479,000	57,742,977
	利用料金収入	2,665,000	2,778,670	2,732,000	2,680,750
	その他収入（利用者外食事代・浴室提供）	302,000	34,200	302,000	125,310
	計	69,584,000	66,500,530	68,513,000	60,549,037
支出	人件費	63,913,000	61,450,384	62,045,000	54,381,755
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費（委託料・賃借料）	1,826,000	1,641,685	2,173,000	2,001,584
	修繕費	150,000	92,880	937,000	870,685
	事業費	3,381,000	3,315,581	3,158,000	3,110,654
	その他支出（職員給食費）	314,000	0	200,000	184,359
	計	69,584,000	66,500,530	68,513,000	60,549,037
収支			0		0

3. 活動指標

単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
定員(入居事業)	9	9	9	9
定員(自立生活体験事業)	2	2	2	2

4. 成果指標

単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
利用率	100	98.5	100	97.7
年間延月単位利用者数	132	130	134	129

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

適切な施設の維持管理とともに高い利用率を維持している。第三者評価受審の結果を踏まえ、利用者本位のサービス提供に努めている。自主事業の浴室提供サービスは昨年度より収入が減少したが、登録者数は1名増加し、在宅の身体障害者に対する地域サービスの向上を図るため、引き続き周知を図りながら実施している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書や実績報告等の提出が適切になされ、運営にあたっては随時区と連絡調整を行い、情報を共有するなど適正な管理運営が図られている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	身体障害者に対して地域における生活の場を提供することで、地域社会での自立生活の促進に寄与している。自主事業の浴室提供事業は利用数が減少しているが、地域サービスの向上のため継続的に実施している。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の老朽化や不具合等の区への報告の他、利用者の安全確保の観点から必要な設備の整備を区に提案する等、施設の適切な維持管理に努めている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	日々の支援の中で、利用者の要望を把握し、入居者が快適に生活を送れるよう、要望等を取り入れた支援に努めている。また、第三者評価を実施し、すぐに改善できる点には迅速に対応した。人員体制の問題等については、現在改善に向けて取り組んでいる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	予算要求時には区とのヒアリングにより必要経費を協議し、適正な執行及び報告が行われている。自主事業の収入は、浴室提供の利用回数減により前年度比減となっているが、地域サービスの一環として引き続き事業の周知を図りながら継続していく必要がある。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (96 / 110点)	<p>【所見】 入居及び体験事業の利用率は高い水準を維持しており、障害者の生活の場として需要が高い。自主事業の利用減はあるものの、施設の適切な維持管理等により利用者の安全確保に努めるなど、適正な運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 自主事業の浴室提供利用数の減少により、収入額が減となっている。引き続き、関係機関と連携し周知を図りながら、地域の障害福祉サービスの向上に努めていく必要がある。</p>